

区分	内訳	車種別ベース枠						備考	補足	変更理由	
		補正枠 LV0	LV1	LV2	LV3	LV4	補正枠 LV5				LV6
①	消耗交換部品系	ブレーキパッド ブレーキシュー プラグ&キャップ タイヤ※	△	○	○	○	○	○	○	※ △印は、ヤマハ製水冷エンジン車種に限りリアタイヤサイズ上乗せ90/90-10とする。 ※ オーバーサイズタイヤ装着の為のセルモーター取外し及び、接触部のケース小加工は可、但し強度に影響がない事	ヤマハ製水冷エンジン搭載車両の優位性を調整、しかしながら、全レベルでの適用はバランスを考慮して行わない
②	油脂類	エンジンオイル ブレーキオイル ギアオイル フォークオイル 各種グリス	○	○	○	○	○	○	○		
③	電子部品系	CDI サブコン インジェクションコントローラー	x	x	x	x	x	x	○	キャブ車のインナーパーツ交換もx印で不可	
④	足回り系1	リアサス	○	○	○	○	○	○	○		制限廃止
⑤	足回り系2	フロントまわり一式 エンジンハンガー	△	△	△	△	△	△	△	ポルトオン又は小加工で装着可能な他車種の純正部品適用可。それに準じる同等の社外品(純正補修部品)への交換も可 フロント周り一式とは、ステム、フォーク、ホイール、シャフト、ブレーキASSYと周囲のカラー、ベアリング、ポルト等を指す。ハンドルは含まない。 コンビブレーキのセパレート化を認める	スズキ、ホンダ空冷が対象となりますが、車両格差を補正し、安全面を考慮して必要と判断。また変更部品を純正又はその同等品とすることでコストも考慮。小加工の定義は「溶接や旋盤、プレスでの機械加工を伴わない」とし強度面が落ちる加工も不可。レッツ系はフォークステム一体型の為、性能維持や修理部品の観点からランニングコストを抑えることもできる(ヤマハ系を移植すれば中古相場で初期投資1万程度、補修部品の数も多量)

※区分⑥~⑪は、ご自身の<車両/体重/その他条件>に合わせた内訳(LV0~6)より、どれか1つ選択になります。

⑥	駆動系0	Wローラー(社外可)	△	x	x	x	x	x	x	純正同等(形状、外径)の社外品利用は認めるが重量変更は認めない	LV0勝利は次戦純正プラス8gの総重量追加以降、勝利ごとにWローラー総重量をプラス3gしてゆく。 ランプカバーの加工及び取り外しを認めない	よりレギュレーション縛りによる性能差を補正するためのローラー形状により変速をコントロールできる要素を確保
⑦	駆動系1	Wローラー(社外可)	x	○	x	x	x	x	x	純正同等(形状、外径)の社外品利用は認める	ランプカバー加工及び取り外し可	車種間バランスを考慮
⑧	駆動系2	Wローラー(社外可) ボス(社外可) ワッシャ(社外可)	x	x	○	x	x	x	x		ランプカバー加工及び取り外し可	車種間バランスを考慮
⑨	駆動系3	Wローラー(社外可) ボス(社外可) ワッシャ(社外可) プーリー&ランププレート	x	x	x	○	x	x	x	(社外可)以外は純正流用のみ認める		
⑩	駆動系4	Wローラー(社外可) ボス(社外可) ワッシャ(社外可) プーリー&ランププレート(社外可) クラッチスプリング センタースプリング トルクカム ドリブ	x	x	x	x	○	x	x	(社外可)以外は純正流用のみ認める		
⑪	駆動系5/6	Wローラー(社外可) Vベルト(社外可) プーリー&ランププレート(社外可) ボス(社外可) ワッシャ(社外可) フェイス(社外可) クラッチシュー(社外可) クラッチスプリング(社外可) センタースプリング(社外可) トルクカム(社外可) ドリブ(社外可) ドライブギア(社外可)	x	x	x	x	x	○	○			
車種区分			特例 均衝用0	<2et> (5.0ps~) <4et> ヤマハ水冷 エンジン搭載車(ホンダOEM車除く)	<2et> (4.5~ 4.9psまで) <4et> ディオZ4 (4.1/7.7車)	<2et> (4.4psまで) <4et> レッツ4系 エンジン 搭載車 その他水冷 エンジン搭載車	<2et> - <4et> その他空冷 エンジン搭載車	特例 均衝用1	特例 均衝用2	車種区分はシーズン中に主催判断にて、変更の可能性が有ります。		ヤマハ車両のホンダOEM化に伴う変更

<特別ルール>
 ※2et車両に関してはタイム制限(6.2秒)を設ける
 ※4et車両に関してはタイム制限(5.1~5.6秒)を設ける
 ※装備体重78kg以下のEXPライダー(★1)は1ランクのレベルDOWN実施
 ★1 全国大会出場者レベル対象の選手権レースでのスクーター系レースで過去1年以内で表彰台2回以上経験者
 試験開催より、レギュラー格上げの為
 SN開催初年度を控え、このレースも対象
 となし、また期間設定にてローダーラインのライダーは正効果を狙う
 体格差差正の為
 体格差差正の為、3UP新規追加
 ※基本装備体重55~70kgに設定
 ・装備体重70kg以上なら、内訳1ランクのレベルUPを認める
 ・装備体重78kg以上なら、内訳2ランクのレベルUPを認める
 ・装備体重88kg以上なら、内訳3ランクのレベルUPを認める(MAX LV6)
 ・装備体重55kg以下なら、内訳1ランクのレベルDOWN実施
 ※勝利者ハンデあり、次戦参戦時は1ランクのレベルDOWN実施
 LV0での勝利ごとに純正設定のWローラーに総重量をプラスしてゆく。規制はを繰り返し適用する(初回純正プラス8g、以降3gづつ、6g→9g→12g...適用回数無制限)
 特別均衝0でもバランスが取れない場合の措置
 ※装備体重に関して、事前計測の体重計誤差等の調整の為、レース当日、自身の設定体重に満たなかった場合は救済措置として、1.5kgまでのウエイトを積んでレース出場することを認める
 積み方、積載物については、落下や飛散の影響を考慮して、レース前に主催側に確認してもらった了承を取ること
 ※レギュレーションに関しては、シーズン中に主催判断にて、変更の可能性が有ります

<ご自身に適用されるレギュレーションの確認方法>
 ①最下段の車種区分よりご自身の出場車両を選択(着色部4つより)
 ②装備体重を測定します(レースに出場する時の装備フルセットを身につけて測定ください)
 ※装備体重が70kg以上の場合、又は55kg以下の場合、適用レギュレーションが変わりますので、各UP/DOWN条件に従い変更ください
 ※装備体重測定に関して、ご自身で計測される重量はあくまで参考値であり、正式には近畿SPL所有の体重計にて必ず測定ください
 ③前戦で優勝した場合、適用レギュレーションより1ランクのレベルDOWNした条件を適用ください(最大LV0)
 ④装備体重78kg以下のEXPライダーの場合、適用レギュレーションより1ランクのレベルDOWNした条件を適用ください(最大LV0)

適用例1 車両 レッツ4(4st) LV3 装備体重 72kg 前戦優勝 していない EXP 対象外 適用レベル LV4 オレンジの枠	適用例2 車両 JOG(4st) LV1 装備体重 52kg 前戦優勝 していない EXP 対象外 適用レベル LV0 特例均衝用0	適用例3 車両 ライフディオ(2st) LV1 装備体重 87kg 前戦優勝 していない EXP 対象外 適用レベル LV4 オレンジの枠	適用例4 車両 Vino(4st) LV1 (JOG系エンジン) 装備体重 65kg 前戦優勝 した EXP 対象外 適用レベル LV0 特例均衝用0	適用例5 車両 Today(4st) LV4 装備体重 65kg 前戦優勝 した EXP 対象外 適用レベル LV3 ピンクの枠
適用例6 車両 レッツ4(4st) LV3 装備体重 65kg 前戦優勝 していない EXP 1DOWN 適用レベル LV2 緑色の枠	適用例7 車両 Vino(4st) LV1 装備体重 75kg 前戦優勝 した EXP 対象 適用レベル LV0	適用例8 車両 Dio-Z4(4st) LV2 装備体重 75kg 前戦優勝 した EXP 対象 適用レベル LV1 水色の枠	適用例9 車両 Today(4st) LV1 装備体重 65kg 前戦優勝 した EXP 対象外 適用レベル LV2 緑色の枠、前よりさらに1DOWN	適用例10 車両 Today(4st) LV4 装備体重 65kg 前戦優勝 していない EXP 対象外 適用レベル LV4 オレンジの枠、振り出しに戻る